

# 協会ニュース

2023



© dia

## 令和5年度事業計画・予算の報告

第2回公益社団法人会津社会事業協会理事会にて、令和5年度事業計画・予算が成立しましたので同封のとおりご報告いたします。以下にポイントをご紹介します。

日時；令和5年2月27日（月）18：30～19：30

場所；公益社団法人会津社会事業協会事務所 出席理事；5名 出席監事；2名

議題；1.令和5年度事業計画 2.令和5年度予算 3.定款変更 4.総会開催 5.その他

<令和5年度事業計画及び予算について>

○OGH；高橋邸について現在、ジョイとして活用しているが、新年度から、GH「こだち別館」にする。定員54名で予算化した（こだち別館の定員を3名から2名に変更）。若松市の体験事業はなし。

○ジョイ；Ⅱ型の機能を果たし、地域活動と個別支援の充実を図っていく。南会津ジョイは職員の状況に合わせて活動する。

○菜 果；新算定方式に対応させて、A型としての役割充実と収益増を図っていく。

利用者は月平均12名で見込んでいる（昨年度は15.5名）、訓練給付は1ランク上位基準を満たしているので1人当たりの月平均は222万円を見込んでいる（昨年度は176万円）。しかし、利用者が減っているため総額はかなり減になる。販売収益は月平均170万円を目標にしている（昨年度は180万円）。昨年目標に到達せず、実績に合わせて予算化した。

○アース；関係機関と連携して困難ケースへの支援機能を発揮させていく。支援量の多かった方の死亡（2名）によって利用者が減ったため、現状の利用者数で予算化した。

○チャリティー事業；『チャリティー事業』という事業名を『地域交流事業』として、事業内容を『地域交流と協会活動のPRの場として事業を検討していく』とし、R5年度をかけた検討していくことにした。

○協会ニュース；ホームページを活用して毎月発行し、必要な会員に対しては郵送を行う。

○地域づくり；自立支援協議会や専門職団体などの地域の役割を積極的に担っていく。

○以下のような意見や説明がなされました。

- ・「電気料などに代表される値上げの厳しさは大変なものがある。材料、消耗品等の購入も工夫しているとは思われるがいかがか。」という質問に対して、「様々な工夫をしているが昨年度よりは支出が増えるのは確実である。」という説明が事務局からなされた。
- ・「菜果の売り上げを回復させるためには、『他の弁当との区別化』が必要だと思われるがいかがか。」という質問に対して、「弁当の質を上げることは考えねばならないが、そのためには、利用者の確保、定着、スキルアップをせねばならない。値上げするとデメリットもある。現時点では値上げをせず、一定の質を維持させることに力をかけてきたが、今後の課題としたい。」という説明が事務局からなされた。
- ・「チャリティー事業からの収益を見込まなくても運営していけるだけの財政基盤があるという意味もあるのか。しかし、法人の維持のための会員確保や法人のPR、地域交流などの視点での取り組みは必要であろう。」という質問に対して、「中央通り商店街のフリーマーケットは今後開催するかどうかかわからないが、法人としてチャリティー事業を行うのは負担が大きく、在り方を見直したい。」という説明が事務局からなされた。

# 令和4年度臨時総会(定款変更)の報告

令和4年度臨時総会にて、定款変更が承認されましたので、ご報告いたします。  
新しい定款を同封いたしますので、ご確認ください。

日時；令和5年3月29日（水） 18：30～19：20  
場所；法人事務局  
議題；定款変更

令和5年3月29日現在 議決権のある社員総数 84名  
議決権の総数；84名（過半数は42名 3分の2は56名）  
直接参加；9名  
委任状；7名  
書面評決；52名  
計；68名（定款変更に必要な3分の2以上を満たしている）  
出席理事；5名

## <定款変更について>

「高橋邸」の寄付を受け「租税特別措置法」に対応する必要があり、定款変更の必要があるため、臨時総会を開催することにした。

- ・令和3年度第2回理事会にて、故人高橋美津子様より、当協会に対して不動産（建物 69.76 m<sup>2</sup>、土地 280.99 m<sup>2</sup>）の寄付を受けることが承認された。  
その後、「租税特別措置法」の手続き（公益法人に寄付をすると贈与税が減免される）を進めていたが、現在の定款では不十分であることを国税庁から指摘を受けたため、原案の通り定款に文言を追加することになった。

## <採決>

審議の結果、出席社員全員一致で賛成、書面評決全員賛成であり、原案通り可決した。



## フォト日記 ジョイ3 ひな祭り会 三の三



私のおだいり様は  
今 いずこに!?



♪今～日も楽しい食べる会♪  
「やはり甘味処ですネ」  
とのこと…



# 活動報告

## 避難訓練について

3月16日、たけだ苑とジョイ合同の火災訓練が行われました。

避難完了までの時間は出火から約7分、ますますの出来でした。さらに今回は、消防署から配布された文書をもとに、火災のとき命を守るために、また自宅で火災を出さないために、どのような行動をとればよいか話し合いました。消火器の場所や使い方、火の始末についても確認しました。

課題は避難が困難な方の対応です。ストレッチャーが必要なのか、おんぶで降ろすのか…、対応する職員構成によってもできる方法が変わるので、様々な状況を想定しなければなりません。今後も工夫しながら訓練を続けていきたいと思ひます。

避難場所の確認



あれば安心  
防災グッズ  
みんなで確認  
避難経路に  
避難場所  
〇〇さんは  
今どこに？



避難の仕方を説明しま～す



消火器 オッケー！指差確認

聞いていま～す



転ばぬ先の杖

押さない、  
走らない、  
さわがない、  
ころばない…



安全第一!!



全員、集合!?

ちょっといっぶく 心もいっぶく  
安全 安心 ♡火の用心  
タバコは灰皿のあるところで!



反省会??

天災は忘れた頃に  
やってくる  
いつまでもあると  
思うな親と金  
親亡き後の  
備えを…



## ひとコマ グループホームにてー

同居していたご両親が相次いで体調を崩されたYさんは、訪問看護やヘルパーの支援を受けながらの生活が徐々に難しくなり、GHに入居となりました。

GHで生活していくうえでは多くの支援が必要になることが予想されていました。実はYさんは、入居を完全に納得していたわけではありませんでした。さらにYさんは人一倍自立心が強い方なので、必要な支援だとしても受け入れて下さらないかも…といった懸念もありました。排泄に課題があるYさんは、トイレへの誘導を受けたり、着替えてもらったりすることがあり、必然的に日に何度も支援を受けることが必要でした。

しかし、いざGH生活が始まってみると、どのスタッフの支援も快く受け入れてくれたのです。それどころか、「GHに来てから体調がいい!」「みんな色々手伝ってくれて、涙が出るほどうれしい」と言葉にして何度も伝えてくれ、スタッフ一同驚くばかりでした。

Yさんにとって初めて家族と離れ、GHという慣れない場所で支援を受けながらの生活は、不安でいっぱい、戸惑うことも多かったと思います。

しかしGHで生活することをYさんなりに覚悟していたのでしょう。だから支援にも協力して(受け入れて)くれたのだと思います。

私たちスタッフも「どうにかYさんの生活を支えていけそうだ…!」と覚悟と実感を持たた出来事になりました。



**フォト日記 ジョイ3**  
**陽光の中で**  
**～お花見を待ちわびる会～**



## 編集後記

令和4年度も終わりが近づいてきました。コロナ禍が終焉に近づき、今までの日常が戻ろうとしています。私たちの業務もコロナ以前よりもより良いものになるように努力していかなければいけないと思っております。令和5年度はさらに利用者の方の個別な課題に取り組めるようにがんばります。(T)